

# EGOTAN通信

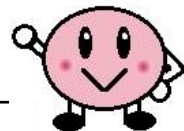
— 江古田小学校 研究便り —

令和元年9月30日  
中野区立江古田小学校  
研究推進委員会  
第6号



EGOTAN

研究主題 認め合い、思いやりをもって表現する児童の育成  
— 自分や相手を知ることを通して —



EGOTAN

第5回研究授業報告 ～9月18日(水)～

第1学年 生活科「ふれあいきゅうしょくへ ようこそ」 授業者：大平 誉  
講師：一般財団法人 教育調査研究所 研究部長 寺崎 千秋先生

## 【本時のねらい】

ふれあい給食の準備をして、友達と協力することのよさに気付くとともに、身近な高齢者に対して感謝の気持ちをもつ。

## 【授業のポイント】

「ふれあい給食会」を通して、児童がおじいちゃん、おばあちゃんへ尊敬や感謝の気持ちを持ち、進んで活動に取り組めるようにしていきたいと考えました。そのために、友達と協力したり、振り返りシートを用いたりして授業を展開していきました。

## 【授業の様子】



## 【児童の発言から】

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが喜ぶかな。
- ・感謝の気持ちを込めて準備してよかったなと思いました。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんに気に入ってほしいなと思いました。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんがいることが楽しみです。

## 【講師の寺崎先生より】

今回の授業は、教師が道筋を作り、その中で児童が活動していく学習でした。次の段階として、教師が児童の意見を生かしながら脇役に徹することができることによりよい授業になります。生活科の学習は、「児童に聞いて、任せて、見守る」ことが大切です。時間はかかりますが、じっくり話し合うことで、納得し、意欲をもって取り組むことができるようになります。そのような学習を積み重ねていくことにより、自分でしっかりと考え、判断できるようになっていきます。

主体的に学ぶためには、自分の活動を振り返ることが大事です。発達段階に合わせて、どのような形でどのように振り返るのかを更に考えてほしいです。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を生かし、より一層、授業力向上に努めていきます。